

10月の中小企業月次景況調査

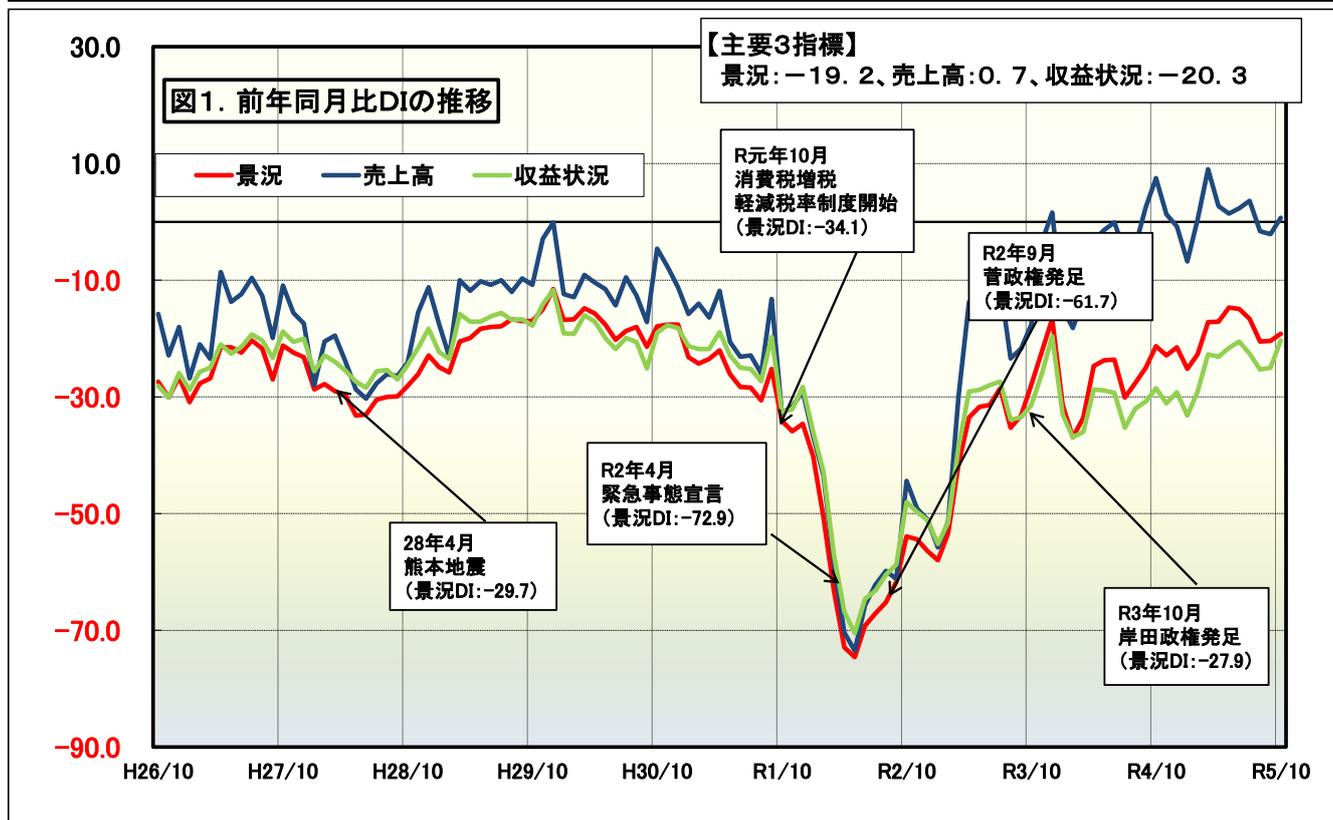
〔令和5年10月末現在〕



令和5年11月27日発表

◎10月のDIは前四半期と比べ多くの指標で上向き。

- 酷暑が一服し人流が増加したことや、十分ではないものの価格転嫁が一部浸透してきたことで、前四半期（7～9月）と比べ景況感は製造業・非製造業ともに上向きとなった。
- 一方で、人手不足・人材確保の問題やそれに伴う人件費の上昇が引き続き多くの業種で収益力の足かせとなっている。
- また、中東情勢の緊迫化や中国の景気減速懸念等、今後の景気減速を懸念する声も数多く寄せられている。



※DIとは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、好転 (増加・上昇) したとする割合から、悪化 (減少・低下) したとする割合を差し引いた値です。

本調査は、都道府県中央会に設置されている情報連絡員〔中小企業の組合 (協同組合、商工組合等) の役職員約2,600名に委嘱〕による調査結果です。
調査の対象は、情報連絡員が所属する組合の組合員の全体的な景況 (前年同月比) です。

(本発表資料のお問い合わせ先)
全国中小企業団体中央会
担当: 政策推進部
TEL 03-3523-4902
<https://www.chuokai.or.jp>

10月の調査結果のD I 概況

【指標D Iの動向とポイント】

- 10月のD Iは前月比では改善基調にて推移。主要3指標は、景況が1.2ポイント改善、売上高が2.8ポイント改善、収益状況が4.7ポイント改善した。
- 主要3指標以外では、設備操業度のD Iが1.3ポイント改善した。
- 酷暑が一服し人流が増加したことや、十分ではないものの価格転嫁が一部浸透してきたことから、製造業・非製造業ともに前四半期と比べ景況感は上向きとなった。

全指標の前年同月比D Iの推移（直近1年間）

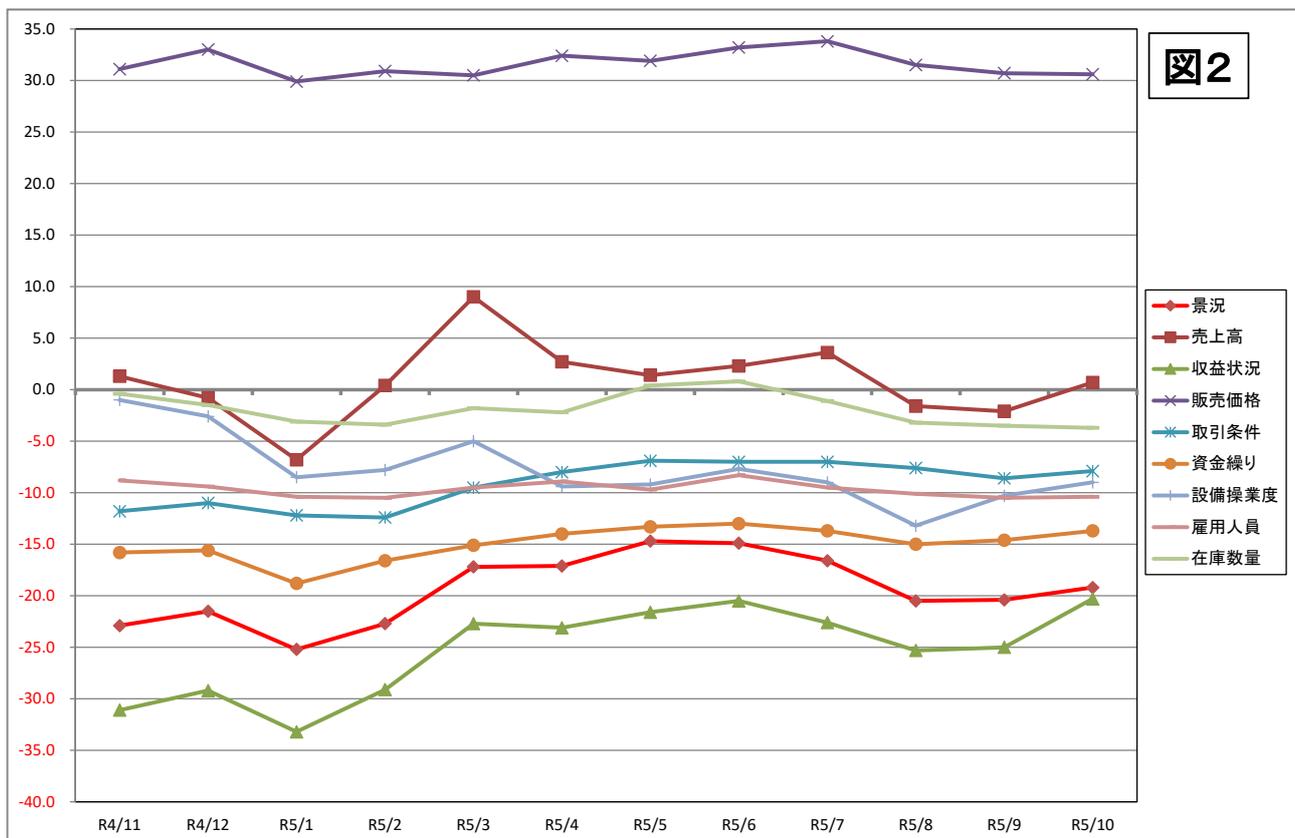


表1	R4			R5										前月比
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
景況	-21.3	-22.9	-21.5	-25.2	-22.7	-17.2	-17.1	-14.7	-14.9	-16.6	-20.5	-20.4	-19.2	1.2
売上高	7.5	1.3	-0.8	-6.8	0.4	9.0	2.7	1.4	2.3	3.6	-1.6	-2.1	0.7	2.8
収益状況	-28.5	-31.1	-29.2	-33.2	-29.1	-22.7	-23.1	-21.6	-20.5	-22.6	-25.3	-25.0	-20.3	4.7
販売価格	33.1	31.1	33.0	29.9	30.9	30.5	32.4	31.9	33.2	33.8	31.5	30.7	30.6	-0.1
取引条件	-11.6	-11.8	-11.0	-12.2	-12.4	-9.5	-8.0	-6.9	-7.0	-7.0	-7.6	-8.6	-7.9	0.7
資金繰り	-15.9	-15.8	-15.6	-18.8	-16.6	-15.1	-14.0	-13.3	-13.0	-13.7	-15.0	-14.6	-13.7	0.9
設備操業度	-4.0	-1.0	-2.6	-8.5	-7.8	-5.0	-9.4	-9.2	-7.7	-9.0	-13.2	-10.3	-9.0	1.3
雇用人員	-8.5	-8.8	-9.4	-10.4	-10.5	-9.5	-8.9	-9.7	-8.3	-9.5	-10.1	-10.5	-10.4	0.1
在庫数量	-2.0	-0.4	-1.5	-3.1	-3.4	-1.8	-2.2	0.4	0.8	-1.1	-3.2	-3.5	-3.7	-0.2

【情報連絡員報告から総括する景況調査のPOINT】

1. 原材料価格、電力・ガス等エネルギー価格の高騰に加え、労務費の上昇による収益悪化に苦慮しているコメントが、引き続き多数寄せられた。
2. 人手不足・人材確保の問題についても、全ての業種から引き続き数多く報告されている。
3. また、中東情勢の緊迫化や中国の景気懸念等、今後の景気減速を懸念する声も数多く寄せられている。

《主な報告内容》

◇原材料価格、エネルギー価格高騰、労務費上昇に対する価格転嫁への対応等

- ・価格転嫁が徐々に進んで案件単価が上昇したため、電気料金をはじめとするオフィスコスト増をカバーできるようになってきたが、人件費の上昇まで補うことは困難で、期待通りの利益確保が厳しい状況で業況感の改善には至っていない。（北海道/ソフトウェア）
- ・セメント価格が昨年同期比で約1.5倍値上がりし、さらなる製品価格のアップとならないと経営状況、収益状況が悪化していく。主要原料（セメント・骨材）の高騰、トラック輸送面の働き方改革による価格上昇のシワ寄せ等が収益状況の悪化に現れて来ており、価格転嫁が進んでいない。（山形県/コンクリート製品製造業）
- ・円安の影響を受け原材料が値上がっているだけでなく、それ以外のコストも大幅な値上がりが続いている。商品の価格改定を行い売上が伸びてきたが利益には表れず、全体の売上高は以前と同じため従業員の給料を上げた分マイナスとなっている。今後も原材料の値上げが続くと思われ、業界としては悪化してきている。（京都府/パン・菓子製造業）

◇人手不足、人材確保の問題に対する経営への影響

- ・10月は、受注はあるが、原材料の投入遅れによりフル稼働できなかったことから、前年同月比で売上が減少した。材料の投入遅れについては、生地産地も人手不足となっており、生地の生産が予定通りに出来なかったことが原因と思われる。（秋田県/繊維）
- ・経営者の高齢化と後継者不足によって廃業する事業者が増加しており、組合員が減少している。特に、下請けの賃機（機屋から糸やその他の原材料を受けとり機を織る）事業者の廃業が目立ち、産地存続の危機に直面している。（山梨県/織物業）
- ・人手不足が深刻な状況になってきており、労働集約型産業としては死活問題である。受注したくても受注できない状況もあり、今後は一部AIを取り入れた機械化を構築していくことが予想され、人手不足の解消につながるものと期待されている。（熊本県/サービス業）

◇今後の景気減速を懸念する事業者の声

- ・自動車部品は生産量が戻りつつあるが、世界情勢と円安がどこまで影響するのか先行き不安である。自動車金型関連は見積もり案件が出るが、なかなか決まらない。（栃木県/金属製品製造業）
- ・中国への輸出は、中国国内の景気後退によりストップしているメーカーがある。注文のキャンセルのあるメーカーもある。受注は増加傾向にあるが、人材不足で納期が半年後のメーカーもある。国内の受注は増加傾向にあるも、中国への輸出が減少傾向にある。（岐阜県/陶磁器）
- ・現在の円安状況や、世界中を巻き込んでいる戦争が今後も継続することが予想されるため、引き続き原油、天然ガス、鉱物資源等の市況は上がり、原材料はますます高騰すると思われる。（広島県/プラスチック製品製造業）

※ 後述の「Pick up!」ならびに「情報連絡員からの報告（要旨）」等も参照。

1. 景況

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 20.4	▲ 19.2	1.2	上昇	↗
製造業	▲ 27.6	▲ 26.6	1.0	上昇	↗
非製造業	▲ 15.0	▲ 13.6	1.4	上昇	↗
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	化学・ゴム、その他の非製造業			
	5～10ポイント	紙・紙加工品、印刷、商店街、運輸業			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	なし			
	5～10ポイント	電気機器			

表2. 業種別【景況】DIの推移（前年同月比）

業種名	4/10	4/11	4/12	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10	前月比
全体	-21.3	-22.9	-21.5	-25.2	-22.7	-17.2	-17.1	-14.7	-14.9	-16.6	-20.5	-20.4	-19.2	1.2
製造業	-26.0	-27.6	-25.6	-30.0	-29.4	-26.5	-27.8	-23.9	-23.7	-24.5	-29.6	-27.6	-26.6	1.0
食料品	-26.3	-32.5	-26.9	-33.2	-25.1	-18.1	-14.8	-12.3	-19.7	-17.9	-21.5	-18.7	-16.5	2.2
繊維工業	-21.6	-23.7	-22.8	-21.1	-23.2	-16.0	-18.6	-9.0	-16.8	-22.6	-26.1	-24.8	-29.2	-4.4
木材・木製品	-43.4	-47.3	-44.6	-49.6	-49.6	-52.2	-62.5	-59.1	-55.3	-52.3	-58.2	-52.7	-51.3	1.4
紙・紙加工品	-39.2	-33.3	-28.0	-28.0	-54.2	-44.0	-57.1	-17.4	-47.8	-47.9	-52.0	-54.1	-45.9	8.2
印刷	-45.2	-37.7	-34.4	-47.7	-46.0	-30.6	-32.8	-35.6	-33.3	-39.6	-42.1	-41.0	-35.7	5.3
化学・ゴム	-40.7	-42.9	-21.5	-34.6	-31.1	-28.5	-29.6	-28.6	-21.5	-28.5	-25.0	-32.2	-21.5	10.7
窯業・土石製品	-32.1	-38.5	-38.7	-39.4	-41.5	-34.6	-35.6	-33.8	-38.2	-35.9	-41.1	-38.0	-34.0	4.0
鉄鋼・金属	-13.0	-14.5	-13.5	-19.0	-19.7	-24.8	-30.0	-25.2	-14.2	-13.7	-21.8	-23.3	-21.0	2.3
一般機器	-14.9	-16.2	-18.3	-22.9	-22.3	-20.9	-18.5	-17.3	-5.8	-1.9	-19.8	-14.7	-17.0	-2.3
電気機器	0.0	0.0	-8.0	0.0	-4.0	-15.4	-3.6	-10.7	-6.9	-25.0	-28.6	-21.4	-28.6	-7.2
輸送機器	-11.4	-6.8	0.0	-15.4	2.4	-14.3	-11.3	2.3	0.0	-2.3	-2.3	4.6	2.2	-2.4
その他の製造業	-25.0	-12.0	-20.0	-17.4	-27.5	-21.1	-23.5	-25.5	-17.7	-25.5	-19.6	-26.0	-26.0	0.0
非製造業	-17.8	-19.4	-18.4	-21.7	-17.6	-10.2	-9.1	-7.8	-8.3	-10.7	-13.6	-15.0	-13.6	1.4
卸売業	-18.2	-22.9	-17.3	-22.3	-14.7	-15.6	-7.8	-10.8	-9.3	-6.0	-17.5	-13.0	-12.7	0.3
小売業	-26.0	-31.8	-26.6	-30.9	-30.2	-21.1	-20.9	-18.2	-15.0	-20.0	-20.1	-23.7	-24.2	-0.5
商店街	-16.7	-22.3	-27.0	-25.8	-21.4	-8.0	-4.5	-8.2	-10.7	-12.5	-16.3	-21.8	-14.0	7.8
サービス業	6.8	2.5	1.4	-5.0	2.1	15.7	13.6	15.2	9.3	6.9	6.9	2.8	2.9	0.1
建設業	-29.3	-23.3	-24.1	-25.0	-21.8	-19.8	-20.8	-14.5	-11.4	-14.5	-15.7	-15.0	-15.8	-0.8
運輸業	-29.0	-20.0	-24.8	-23.3	-21.7	-17.4	-14.0	-16.5	-18.6	-24.0	-25.2	-26.2	-20.6	5.6
その他の非製造業	-17.2	-13.8	-6.9	-17.9	-17.2	0.0	-10.0	-3.3	-10.0	-10.4	-27.6	-23.3	-10.4	12.9

Pick up!

「商店街」：秋のイベントが開催される等、人流も増加したこととから景況DIは▲14.0と、前月比7.8ポイント改善。

「電気機器」：中国市場の冷え込みの影響等、受注の減少や在庫調整の影響により景況DIは▲28.6と前月比7.2ポイント低下。

2. 売上高

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 2.1	0.7	2.8	上昇	↗
製造業	▲ 9.2	▲ 1.8	7.4	上昇	↗
非製造業	3.1	2.7	▲ 0.4	悪化	↘
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	木材・木製品、紙・紙加工品、窯業・土石製品、輸送機器、その他の製造業			
	5～10ポイント	繊維工業、鉄鋼・金属、一般機器、その他の非製造業			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	印刷			
	5～10ポイント	なし			

表3. 業種別【売上高】DIの推移（前年同月比）

業種名	4/10	4/11	4/12	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10	前月比
全体	7.5	1.3	-0.8	-6.8	0.4	9.0	2.7	1.4	2.3	3.6	-1.6	-2.1	0.7	2.8
製造業	5.1	4.0	-2.5	-9.5	-5.4	3.0	-2.9	-0.3	-3.2	-1.7	-10.7	-9.2	-1.8	7.4
食料品	18.2	11.5	5.9	0.5	5.7	30.1	20.4	20.1	16.0	9.2	11.7	12.7	15.4	2.7
繊維工業	10.8	2.7	2.6	-1.8	5.5	10.6	7.1	1.8	6.2	4.3	-1.8	-7.0	-0.9	6.1
木材・木製品	-21.2	-23.2	-31.3	-28.8	-38.8	-31.3	-53.6	-49.1	-55.4	-44.2	-49.1	-38.4	-28.3	10.1
紙・紙加工品	26.1	20.8	8.0	8.0	0.0	16.0	-4.7	21.8	-30.5	4.4	-32.0	-41.6	-4.2	37.4
印刷	-1.6	9.8	0.0	-26.1	-3.2	8.0	-8.6	-13.6	-3.4	1.7	-8.7	7.2	-5.4	-12.6
化学・ゴム	7.4	0.0	-10.7	-3.8	3.5	-3.6	11.1	14.3	0.0	7.1	3.6	3.6	3.5	-0.1
窯業・土石製品	-24.8	-20.0	-27.9	-29.9	-20.7	-10.3	-22.9	-6.7	-22.7	-10.0	-26.9	-29.4	-17.1	12.3
鉄鋼・金属	13.1	18.4	12.0	-2.3	-0.8	1.5	-4.5	-2.3	6.7	1.5	-12.7	-15.0	-5.2	9.8
一般機器	12.2	12.4	8.7	-6.6	-3.8	-2.9	1.0	1.0	18.3	16.5	-7.9	0.0	8.0	8.0
電気機器	27.0	23.1	12.0	-6.4	12.0	-11.6	7.1	-7.1	-17.3	-21.4	-17.9	-25.0	-25.0	0.0
輸送機器	9.1	0.0	4.7	10.3	9.7	-4.8	15.9	20.4	13.6	27.3	6.8	13.6	28.8	15.2
その他の製造業	3.8	10.0	-2.0	-5.8	-17.6	-1.9	4.0	0.0	-9.9	-17.7	-17.7	-14.0	-2.0	12.0
非製造業	9.1	-0.8	0.4	-4.8	4.7	13.6	6.7	2.6	6.4	7.6	5.3	3.1	2.7	-0.4
卸売業	22.7	5.4	13.4	7.2	20.5	17.6	11.8	6.9	17.3	20.7	10.6	9.4	8.3	-1.1
小売業	2.7	-13.4	-2.8	-14.9	-13.0	-1.3	-6.4	-13.0	-0.6	1.9	4.7	-1.6	-6.5	-4.9
商店街	8.4	1.9	-2.6	-11.3	11.0	17.4	15.2	13.7	18.8	13.8	12.4	4.0	3.9	-0.1
サービス業	24.9	12.2	6.1	11.3	24.2	42.3	28.2	27.9	21.1	19.4	23.0	16.2	19.5	3.3
建設業	-8.4	-12.7	-12.6	-12.5	-7.2	-7.5	-10.3	-10.0	-9.2	-8.5	-15.7	-10.4	-9.9	0.5
運輸業	7.6	12.3	6.9	-3.8	-1.6	18.9	7.0	-10.9	-10.0	0.0	-6.3	-1.5	-2.3	-0.8
その他の非製造業	-6.9	-3.4	-13.8	-42.9	-3.5	3.6	6.7	0.0	0.0	0.0	-6.9	10.0	17.3	7.3

Pick up!

「紙・紙加工品」：販売数量は減少基調ではあるが、価格転嫁により販売価格が上昇したことから、売上高DIは▲4.2と前月比37.4ポイント改善。

「輸送機器」：自動車産業の生産・販売が順調に推移していることを背景に、売上高DIは28.8と前月比15.2ポイント上昇。

3. 収益状況

	前月	当月	増減	傾向		
全体	▲ 25.0	▲ 20.3	4.7	上昇	↗	
製造業	▲ 30.0	▲ 23.4	6.6	上昇	↗	
非製造業	▲ 21.2	▲ 18.1	3.1	上昇	↗	
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	木材・木製品、化学・ゴム、電気機器				
	5～10ポイント	食料品、繊維工業、一般機器、その他の製造業、卸売業、商店街、運輸業				
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	なし				
	5～10ポイント	なし				

表4. 業種別【収益状況】DIの推移（前年同月比）

業種名	4/10	4/11	4/12	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10	前月比
全体	-28.5	-31.1	-29.2	-33.2	-29.1	-22.7	-23.1	-21.6	-20.5	-22.6	-25.3	-25.0	-20.3	4.7
製造業	-34.8	-36.8	-34.8	-39.8	-37.1	-30.6	-32.1	-31.5	-28.3	-30.7	-34.0	-30.0	-23.4	6.6
食料品	-40.4	-40.5	-39.8	-41.2	-35.4	-21.6	-23.5	-21.6	-20.2	-26.7	-23.5	-23.7	-16.0	7.7
繊維工業	-42.4	-44.7	-39.5	-40.3	-41.6	-38.1	-31.8	-31.5	-27.4	-31.3	-36.0	-29.2	-23.0	6.2
木材・木製品	-33.6	-39.2	-41.9	-38.7	-47.8	-34.7	-52.7	-54.6	-49.1	-54.1	-51.8	-51.8	-40.7	11.1
紙・紙加工品	-30.4	-33.3	-28.0	-28.0	-33.4	-44.0	-47.6	-43.5	-34.8	-26.1	-40.0	-29.2	-29.2	0.0
印刷	-59.7	-52.5	-49.2	-66.2	-53.9	-41.9	-25.9	-42.3	-36.7	-39.6	-45.6	-48.2	-44.6	3.6
化学・ゴム	-40.8	-50.0	-32.2	-57.7	-55.2	-39.3	-29.6	-42.8	-50.0	-32.2	-32.2	-35.7	-14.3	21.4
窯業・土石製品	-36.5	-40.8	-36.5	-37.3	-37.7	-30.1	-34.0	-30.1	-33.1	-29.0	-39.6	-32.5	-28.9	3.6
鉄鋼・金属	-28.5	-26.7	-25.5	-42.4	-31.0	-32.9	-31.6	-30.7	-23.2	-30.6	-30.1	-25.6	-22.5	3.1
一般機器	-30.9	-26.7	-28.9	-32.4	-34.9	-26.6	-32.0	-26.9	-17.3	-17.5	-32.7	-18.7	-13.0	5.7
電気機器	-7.7	-11.5	-16.0	-16.1	-8.0	-15.4	-21.4	-17.8	-24.1	-39.3	-28.6	-32.2	-14.3	17.9
輸送機器	-22.8	-31.8	-23.3	-25.6	-14.6	-33.4	-31.8	-22.7	-18.2	-11.4	-11.3	-9.1	-4.4	4.7
その他の製造業	-11.6	-28.0	-28.0	-38.5	-31.4	-23.1	-23.6	-25.5	-25.5	-29.4	-37.3	-30.0	-22.0	8.0
非製造業	-23.8	-26.8	-24.9	-28.2	-23.2	-16.6	-16.5	-14.3	-14.5	-16.4	-18.7	-21.2	-18.1	3.1
卸売業	-23.2	-26.9	-17.3	-24.2	-12.7	-16.1	-15.2	-15.7	-16.3	-16.3	-19.6	-21.9	-16.1	5.8
小売業	-34.2	-38.9	-35.1	-39.5	-41.3	-29.4	-28.9	-25.0	-24.3	-24.6	-26.5	-29.6	-27.7	1.9
商店街	-22.4	-30.0	-27.0	-30.2	-24.1	-18.6	-13.3	-15.0	-6.9	-13.8	-16.9	-25.2	-19.1	6.1
サービス業	1.8	-4.7	-9.6	-11.3	-4.7	9.3	3.5	8.1	3.3	-1.1	0.8	-5.7	-4.7	1.0
建設業	-36.4	-33.1	-32.5	-33.8	-28.5	-27.4	-24.9	-19.4	-21.9	-20.8	-24.1	-22.5	-21.8	0.7
運輸業	-32.8	-30.8	-32.5	-30.8	-25.6	-21.2	-19.4	-22.6	-20.9	-26.3	-29.9	-29.3	-19.8	9.5
その他の非製造業	-20.7	-17.2	-6.9	-28.5	-13.8	-7.1	-13.3	-23.3	-16.7	-6.9	-31.1	-13.3	-13.8	-0.5

Pick up!

「食料品」：価格転嫁が進んできていることに加え、残暑から一転、10月は天候が落ち着きイベント等も開催されてことから、収益状況DIは▲16.0と前月比7.7ポイント改善。

「卸売業」：原材料価格の上昇分の製品価格への転嫁が進んだことや荷動きが堅調に推移していることから、収益状況DIは▲16.1と前月比5.8ポイント改善。

4. 資金繰り、販売価格、取引条件、設備操業度、雇用人員、在庫数量

(1) 資金繰り	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 14.6	▲ 13.7	0.9	上昇	↗
製造業	▲ 15.4	▲ 14.7	0.7	上昇	↗
非製造業	▲ 13.9	▲ 13.0	0.9	上昇	↗
(2) 販売価格	前月	当月	増減	傾向	
全体	30.7	30.6	▲ 0.1	悪化	↘
製造業	28.0	30.2	2.2	上昇	↗
非製造業	32.7	30.9	▲ 1.8	悪化	↘
(3) 取引条件	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 8.6	▲ 7.9	0.7	上昇	↗
製造業	▲ 5.6	▲ 5.0	0.6	上昇	↗
非製造業	▲ 10.9	▲ 10.2	0.7	上昇	↗
(4) 設備操業度	前月	当月	増減	傾向	
製造業	▲ 10.3	▲ 9.0	1.3	上昇	↗
(5) 雇用人員	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 10.5	▲ 10.4	0.1	上昇	↗
製造業	▲ 10.4	▲ 9.4	1.0	上昇	↗
非製造業	▲ 10.6	▲ 11.0	▲ 0.4	悪化	↘
(6) 在庫数量	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 3.5	▲ 3.7	▲ 0.2	悪化	↘
製造業	▲ 3.4	▲ 3.8	▲ 0.4	悪化	↘
非製造業	▲ 3.7	▲ 3.5	0.2	上昇	↗

Calendar 2023

～～ 国内外の主なトピックス（令和5年11月）～～

11月8日(水)	9月の景気動向指数：内閣府。足元の経済状況を表す一致指数は前月比0.1ポイント上昇し114.7となり、2カ月連続で前月比上昇となった。
11月9日(木)	10月の景気ウォッチャー調査：内閣府。景気の現状を示す指数が49.5と前月比0.4ポイント低下。3カ月連続で前月を下回り、物価高が街角景気を下押し状況が継続。
11月9日(木)	上期の国際収支速報：財務省。上期の経常収支の黒字額は12兆7064億円と前年同期から3倍に増え、年度の半期ベースで過去最大だった。資源高の一服による貿易赤字の縮小と海外からの利子・配当収入を示す第1次所得収支の伸びが主要要因。
11月13日(月)	10月の工作機械受注額：日本工作機械工業会。前年同月比20.6%減の1120億円と10カ月連続で前年同月を下回った。中国の景気減速等から様子見が続いている。
11月13日(月)	10月の企業物価指数：日本銀行。前年同月比0.8%上昇と伸び率は2年8カ月ぶりに1%を割り、原材料コストの価格転嫁に一服感が出てきている様子。
11月15日(水)	7～9月のGDP速報値：内閣府。前期比年率2.1%減となった。マイナス成長となるのは3四半期ぶり、個人消費、設備投資がともに落ち込んだ。

表5. 主要指標の業種別 D I(前年同月比)

(令和5年10月末現在)

	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
全体	-19.2	0.7	-20.3	30.6	-7.9	-13.7	-9.0	-10.4	-3.7
製造業	-26.6	-1.8	-23.4	30.2	-5.0	-14.7	-9.0	-9.4	-3.8
非製造業	-13.6	2.7	-18.1	30.9	-10.2	-13.0		-11.0	-3.5

(製造業)

業種名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
食料品	-16.5	15.4	-16.0	44.8	-4.1	-13.9	1.5	-8.3	-10.8
繊維工業	-29.2	-0.9	-23.0	29.2	-3.6	-16.8	-4.4	-11.5	-8.9
木材・木製品	-51.3	-28.3	-40.7	-8.0	-10.7	-19.5	-15.9	-5.3	-5.3
紙・紙加工品	-45.9	-4.2	-29.2	45.9	-8.3	-12.5	-16.7	-12.5	-16.6
印刷	-35.7	-5.4	-44.6	35.7	-8.9	-16.1	-19.7	-16.1	-7.1
化学・ゴム	-21.5	3.5	-14.3	50.0	-3.6	-21.4	-7.1	-3.6	32.2
窯業・土石製品	-34.0	-17.1	-28.9	53.3	-4.4	-15.5	-22.2	-17.0	-2.3
鉄鋼・金属	-21.0	-5.2	-22.5	25.6	-6.0	-12.0	-11.3	-7.5	-1.5
一般機器	-17.0	8.0	-13.0	23.0	2.0	-9.0	-6.0	0.0	4.0
電気機器	-28.6	-25.0	-14.3	0.0	-14.3	-7.2	-17.8	-28.5	-17.8
輸送機器	2.2	28.8	-4.4	22.2	-2.2	-11.1	13.3	-4.5	13.4
その他の製造業	-26.0	-2.0	-22.0	26.0	-4.0	-20.0	-10.0	-10.0	-6.0

(非製造業)

業種名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
卸売業	-12.7	8.3	-16.1	42.9	-11.2	-10.7		-5.8	-1.0
小売業	-24.2	-6.5	-27.7	34.8	-17.0	-21.4		-10.6	-5.9
商店街	-14.0	3.9	-19.1	40.1	-12.1	-18.5		-7.7	-1.9
サービス業	2.9	19.5	-4.7	29.2	-5.0	-5.3		-10.0	
建設業	-15.8	-9.9	-21.8	20.1	-8.1	-9.8		-14.1	
運輸業	-20.6	-2.3	-19.8	16.6	-3.9	-13.5		-24.6	
その他の非製造業	-10.4	17.3	-13.8	20.7	-10.4	-3.4		3.4	

表6. 主要指標の業種別景況調査総括表(前年同月比)

(令和5年 10月 末現在)

(単位:%)

業種	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備操業度			雇用人員			在庫数量		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
全体	9.7	61.4	28.9	29.1	42.6	28.4	12.2	55.3	32.5	37.0	56.6	6.4	4.0	84.1	11.9	3.7	79.0	17.4	11.5	68.0	20.5	5.1	79.4	15.5	11.9	72.5	15.6
製造業	7.3	58.9	33.9	27.5	43.2	29.3	10.3	56.0	33.7	36.4	57.4	6.2	4.1	86.8	9.1	3.0	79.3	17.7	11.5	68.0	20.5	6.1	78.4	15.5	12.5	71.2	16.3
非製造業	11.6	63.2	25.2	30.3	42.1	27.6	13.6	54.7	31.7	37.4	56.1	6.5	3.8	82.1	14.0	4.1	78.7	17.1	0.0	0.0	0.0	4.4	80.1	15.4	11.1	74.3	14.6

(製造業)

業種	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備操業度			雇用人員			在庫数量		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
食料品	8.8	66.0	25.3	37.6	40.2	22.2	12.9	58.2	28.9	46.9	51.0	2.1	4.1	87.6	8.2	4.1	77.8	18.0	14.4	72.7	12.9	8.2	75.3	16.5	8.8	71.6	19.6
繊維工業	7.1	56.6	36.3	23.9	51.3	24.8	7.1	62.8	30.1	34.5	60.2	5.3	8.8	78.8	12.4	1.8	79.6	18.6	12.4	70.8	16.8	5.3	77.9	16.8	10.6	69.9	19.5
木材・木製品	2.7	43.4	54.0	17.7	36.3	46.0	5.3	48.7	46.0	21.2	49.6	29.2	3.5	82.3	14.2	0.9	78.8	20.4	8.0	68.1	23.9	4.4	85.8	9.7	18.6	57.5	23.9
紙・紙加工品	8.3	37.5	54.2	37.5	20.8	41.7	20.8	29.2	50.0	54.2	37.5	8.3	4.2	83.3	12.5	0.0	87.5	12.5	12.5	58.3	29.2	4.2	79.2	16.7	16.7	50.0	33.3
印刷	5.4	53.6	41.1	25.0	44.6	30.4	3.6	48.2	48.2	37.5	60.7	1.8	3.6	83.9	12.5	1.8	80.4	17.9	10.7	58.9	30.4	1.8	80.4	17.9	5.4	82.1	12.5
化学・ゴム	7.1	64.3	28.6	32.1	39.3	28.6	14.3	57.1	28.6	50.0	50.0	0.0	7.1	82.1	10.7	3.6	71.4	25.0	14.3	64.3	21.4	14.3	67.9	17.9	39.3	53.6	7.1
窯業・土石製品	6.7	52.6	40.7	25.9	31.1	43.0	11.1	48.9	40.0	54.8	43.7	1.5	3.0	89.6	7.4	5.2	74.1	20.7	5.9	65.9	28.1	0.0	83.0	17.0	9.6	78.5	11.9
鉄鋼・金属	6.8	65.4	27.8	24.1	46.6	29.3	11.3	54.9	33.8	30.1	65.4	4.5	3.0	88.0	9.0	3.0	82.0	15.0	12.8	63.2	24.1	9.0	74.4	16.5	11.3	75.9	12.8
一般機器	6.0	71.0	23.0	25.0	58.0	17.0	9.0	69.0	22.0	25.0	73.0	2.0	3.0	96.0	1.0	2.0	87.0	11.0	10.0	74.0	16.0	9.0	82.0	9.0	11.0	82.0	7.0
電気機器	7.1	57.1	35.7	17.9	39.3	42.9	10.7	64.3	25.0	14.3	71.4	14.3	0.0	85.7	14.3	7.1	78.6	14.3	17.9	46.4	35.7	3.6	64.3	32.1	17.9	46.4	35.7
輸送機器	22.2	57.8	20.0	44.4	40.0	15.6	15.6	64.4	20.0	28.9	64.4	6.7	8.9	80.0	11.1	6.7	75.6	17.8	24.4	64.4	11.1	11.1	73.3	15.6	17.8	77.8	4.4
その他の製造業	6.0	62.0	32.0	16.0	66.0	18.0	12.0	54.0	34.0	26.0	74.0	0.0	0.0	96.0	4.0	0.0	80.0	20.0	4.0	82.0	14.0	4.0	82.0	14.0	14.0	66.0	20.0

(非製造業)

業種	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備操業度			雇用人員			在庫数量		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
卸売業	12.7	62.0	25.4	35.1	38.0	26.8	13.7	56.6	29.8	50.7	41.5	7.8	2.9	82.9	14.1	4.4	80.5	15.1				5.9	82.4	11.7	12.7	73.7	13.7
小売業	9.0	57.8	33.2	28.9	35.7	35.4	12.1	48.1	39.8	46.9	41.0	12.1	1.9	79.2	18.9	3.4	71.7	24.8				2.8	83.9	13.4	9.9	74.2	15.8
商店街	10.8	64.3	24.8	28.7	46.5	24.8	12.1	56.7	31.2	45.2	49.7	5.1	4.5	79.0	16.6	2.5	76.4	21.0				3.8	84.7	11.5	11.5	75.2	13.4
サービス業	19.6	63.7	16.7	38.4	42.7	18.9	20.6	54.1	25.3	31.3	66.5	2.1	7.5	80.1	12.5	7.5	79.7	12.8				7.8	74.4	17.8			
建設業	5.6	73.1	21.4	19.2	51.7	29.1	6.0	66.2	27.8	24.8	70.5	4.7	2.6	86.8	10.7	1.3	87.6	11.1				3.0	79.9	17.1			
運輸業	12.7	54.0	33.3	29.4	38.9	31.7	16.7	46.8	36.5	22.2	72.2	5.6	4.0	88.1	7.9	4.8	77.0	18.3				2.4	70.6	27.0			
その他の非製造業	3.4	82.8	13.8	34.5	48.3	17.2	17.2	51.7	31.0	24.1	72.4	3.4	3.4	82.8	13.8	6.9	82.8	10.3				3.4	96.6	0.0			

表7. 全国及び各地域別の【業界の景況・売上高・収益状況】(前年同月比)

(令和5年 10月 末現在)

〔全国〕

項目	業界の景況				売上高				収益状況				
	業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体		9.7	61.4	28.9	-19.2	29.1	42.6	28.4	0.7	12.2	55.3	32.5	-20.3
製造業		7.3	58.9	33.9	-26.6	27.5	43.2	29.3	-1.8	10.3	56.0	33.7	-23.4
非製造業		11.6	63.2	25.2	-13.6	30.3	42.1	27.6	2.7	13.6	54.7	31.7	-18.1

〔近畿地方〕

滋賀県, 京都府, 奈良県, 大阪府, 兵庫県, 和歌山県

項目	業界の景況				売上高				収益状況				
	業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体		8.1	60.3	31.6	-23.5	25.9	44.5	29.6	-3.7	9.7	54.3	36.0	-26.3
製造業		4.3	54.3	41.4	-37.1	24.1	41.4	34.5	-10.4	6.9	56.0	37.1	-30.2
非製造業		11.5	65.6	22.9	-11.4	27.5	47.3	25.2	2.3	12.2	52.7	35.1	-22.9

〔北海道・東北地方〕

北海道, 青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県

項目	業界の景況				売上高				収益状況				
	業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体		11.7	60.1	28.2	-16.5	30.7	37.3	32.0	-1.3	14.2	53.2	32.6	-18.4
製造業		6.4	52.7	40.9	-34.5	30.0	34.5	35.5	-5.5	10.0	48.2	41.8	-31.8
非製造業		14.6	64.1	21.4	-6.8	31.1	38.8	30.1	1.0	16.5	55.8	27.7	-11.2

〔中国地方〕

鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県

項目	業界の景況				売上高				収益状況				
	業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体		10.4	66.3	23.3	-12.9	32.1	45.0	22.9	9.2	13.8	55.8	30.4	-16.6
製造業		7.2	64.9	27.9	-20.7	28.8	51.4	19.8	9.0	9.0	60.4	30.6	-21.6
非製造業		13.2	67.4	19.4	-6.2	34.9	39.5	25.6	9.3	17.8	51.9	30.2	-12.4

〔関東・甲信越地方〕

茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 新潟県, 長野県, 山梨県

項目	業界の景況				売上高				収益状況				
	業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体		10.9	62.2	26.8	-15.9	28.9	43.1	28.1	0.8	13.9	55.1	31.0	-17.1
製造業		9.8	56.6	33.6	-23.8	25.7	42.6	31.7	-6.0	12.8	52.8	34.3	-21.5
非製造業		11.7	66.2	22.1	-10.4	31.1	43.4	25.5	5.6	14.6	56.6	28.7	-14.1

〔四国地方〕

徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県

項目	業界の景況				売上高				収益状況				
	業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体		8.7	57.2	34.1	-25.4	28.9	40.5	30.6	-1.7	6.4	54.9	38.7	-32.3
製造業		10.1	62.0	27.8	-17.7	32.9	46.8	20.3	12.6	6.3	63.3	30.4	-24.1
非製造業		7.4	53.2	39.4	-32.0	25.5	35.1	39.4	-13.9	6.4	47.9	45.7	-39.3

〔東海・北陸地方〕

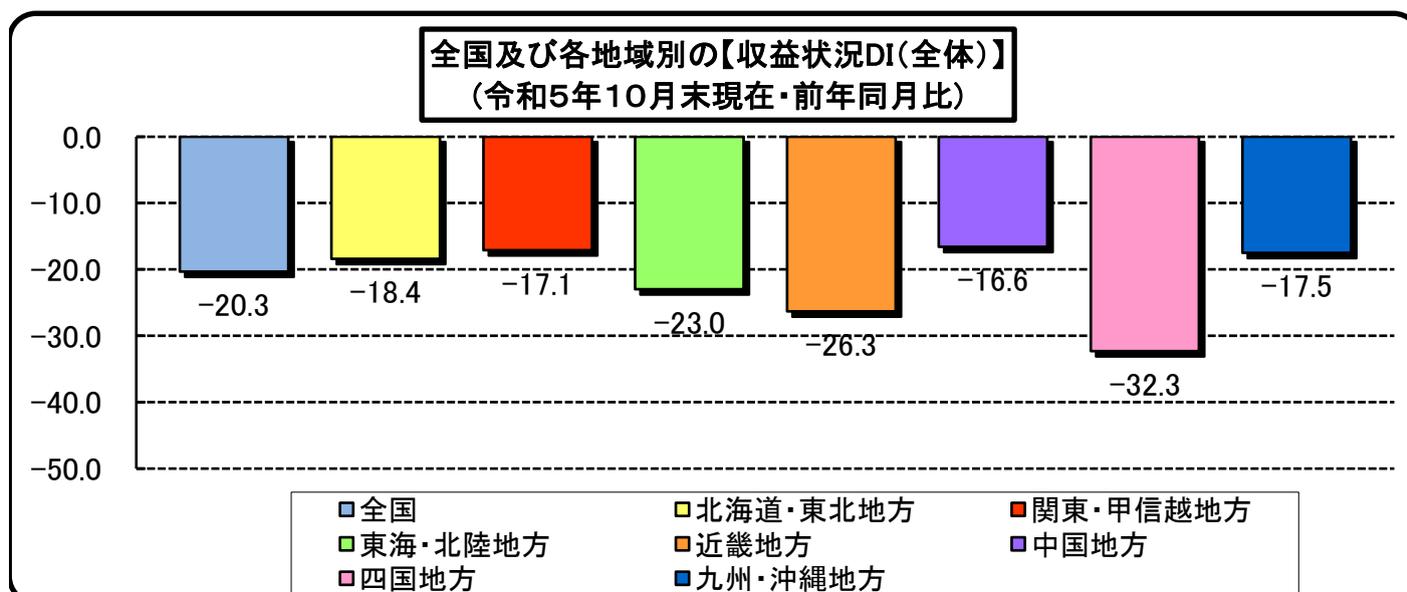
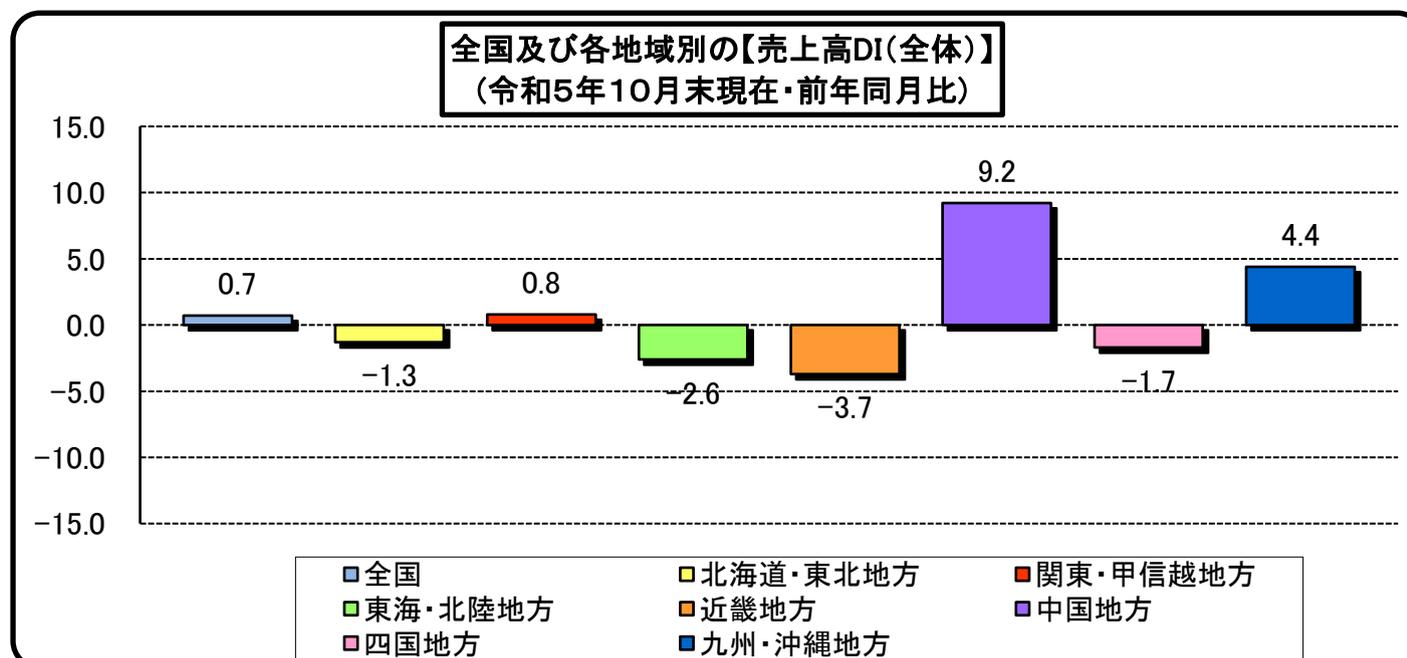
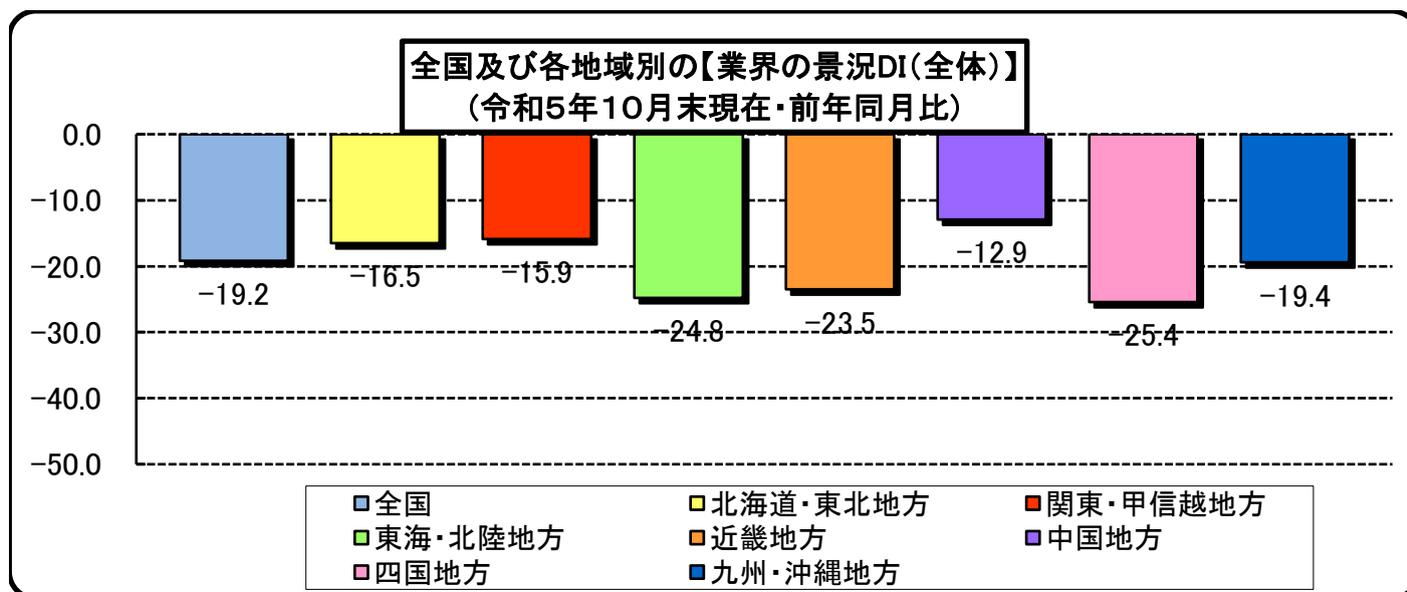
静岡県, 愛知県, 岐阜県, 三重県, 富山県, 石川県, 福井県

項目	業界の景況				売上高				収益状況				
	業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体		8.4	58.3	33.2	-24.8	27.1	43.2	29.7	-2.6	10.2	56.5	33.2	-23.0
製造業		6.2	59.0	34.9	-28.7	26.7	44.1	29.2	-2.5	11.3	55.9	32.8	-21.5
非製造業		10.7	57.7	31.6	-20.9	27.6	42.3	30.1	-2.5	9.2	57.1	33.7	-24.5

〔九州・沖縄地方〕

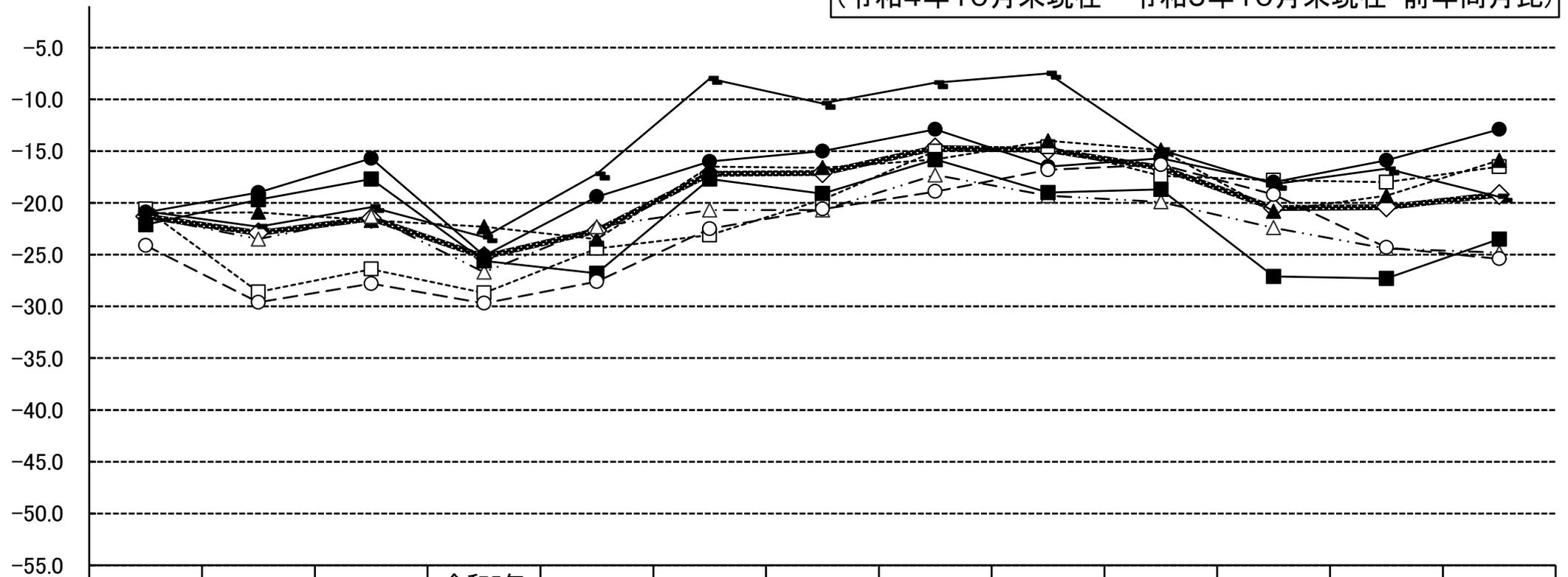
福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県, 宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県

項目	業界の景況				売上高				収益状況				
	業種	好転	不変	悪化	DI	増加	不変	減少	DI	好転	不変	悪化	DI
全体		8.5	63.6	27.9	-19.4	30.4	43.6	26.0	4.4	12.9	56.7	30.4	-17.5
製造業		5.6	65.0	29.4	-23.8	28.7	42.7	28.7	0.0	10.5	60.8	28.7	-18.2
非製造業		10.4	62.6	27.0	-16.6	31.5	44.1	24.3	7.2	14.4	54.1	31.5	-17.1



- [北海道・東北地方] 北海道, 青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県
- [関東・甲信越地方] 茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 新潟県, 長野県, 山梨県
- [東海・北陸地方] 静岡県, 愛知県, 岐阜県, 三重県, 富山県, 石川県, 福井県
- [近畿地方] 滋賀県, 京都府, 奈良県, 大阪府, 兵庫県, 和歌山県
- [中国地方] 鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県
- [四国地方] 徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県
- [九州・沖縄地方] 福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県, 宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県

全国及び各地域別の【業界の景況DI(全体)の推移】
(令和4年10月末現在～令和5年10月末現在・前年同月比)



	10月末	11月末	12月末	令和5年 1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末	7月末	8月末	9月末	10月末
◆系列1	-21.3	-22.9	-21.5	-25.2	-22.7	-17.2	-17.1	-14.7	-14.9	-16.6	-20.5	-20.4	-19.2
□系列2	-20.6	-28.6	-26.4	-28.7	-24.4	-23.1	-19.7	-15.0	-14.6	-17.4	-17.8	-18.0	-16.5
▲系列3	-21.0	-20.9	-21.7	-22.3	-23.5	-16.5	-16.6	-15.8	-14.0	-14.9	-20.8	-19.3	-15.9
△系列4	-21.3	-23.5	-21.3	-26.7	-22.3	-20.7	-20.7	-17.3	-19.3	-19.9	-22.4	-24.4	-24.8
■系列5	-22.1	-19.7	-17.7	-25.6	-26.8	-17.7	-19.1	-15.8	-19.0	-18.7	-27.1	-27.3	-23.5
●系列6	-20.9	-19.0	-15.7	-25.1	-19.4	-16.0	-15.0	-12.9	-16.5	-15.7	-18.0	-15.9	-12.9
○系列7	-24.1	-29.6	-27.8	-29.7	-27.6	-22.5	-20.6	-18.9	-16.8	-16.3	-19.2	-24.3	-25.4
—系列8	-20.8	-22.3	-20.4	-23.3	-17.2	-8.0	-10.4	-8.4	-7.5	-14.9	-18.2	-16.7	-19.4

- [北海道・東北地方(系列2)] 北海道, 青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県
- [関東・甲信越地方(系列3)] 茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県, 新潟県, 長野県, 山梨県
- [東海・北陸地方(系列4)] 静岡県, 愛知県, 岐阜県, 三重県, 富山県, 石川県, 福井県
- [近畿地方(系列5)] 滋賀県, 京都府, 奈良県, 大阪府, 兵庫県, 和歌山県
- [中国地方(系列6)] 鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県
- [四国地方(系列7)] 徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県
- [九州・沖縄地方(系列8)] 福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県, 宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県

※系列1は全国の数値です。